県立学校人事異動公募制度（わくチャレ）の効果的な活用について

～あなたの学校とキャリアに、新たな可能性を～

学校企画課

ステップ１　**【校長】制度の利用を希望する学校が「求める教員像」を公表し、募集開始**

ある校長先生方の想い



Ａ校長「ＤＸハイスクールに採択されたものの、それを推進できる核となる教員がいない…」

Ｂ校長「キャリア教育を充実させたいが、進路指導の核となるベテラン教員がいない…」

Ｃ校長「学校全体の授業改善を進めたいが、そのノウハウを持った中堅教員がいない…」

Ｄ校長「２年後に控える周年行事。母校に貢献したい卒業生教員とともに成功させたい…」

Ｅ校長「多様な個に応じた指導を充実させたいが、特別支援教育の専門性を持った教員が足りない…」

Ｆ校長「若手とベテランの間に立ち、学校を牽引する中堅教員がほしい…」

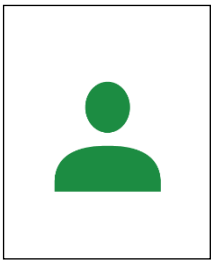
学校のグランドデザイン実現に向けた大切な課題

⇒　その解決の鍵となる人材を「求める教員像」としてまとめ、“わくチャレ”にエントリー！

※わくチャレにより人事異動が成立した場合、当該校はその後2年間エントリーは不可

ステップ２　**【教員】各学校の公募内容をみながら、チャレンジしたい学校に応募**

ある先生方の胸の内



ａ教員「国の採択事業に携わりたい。次の学校でそのチャンスを得られるだろうか？」

ｂ教員「長年進路指導主事として培った経験を、次の学校でも最大限に活かしたい！」

ｃ教員「協調学習マイスター教員に認定された経験を活かし、学校全体の授業改善をリードしたい！」

ｄ教員「いつかは母校で教えたい。２年後に周年行事を迎える母校に貢献したい！」

ｅ教員「ルール未解消だが家庭事情で単身は難しい。負荷のある仕事であっても通勤可能な学校で頑張りたい！」

ｆ教員「前任校で手掛けた探究学習の推進にもう一度関わりたい。前任校での勤務は可能なのか？」

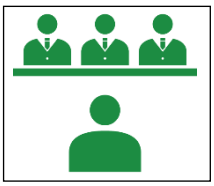
次の赴任校で、これまでの経験やノウハウを最大限生かし、新たな挑戦をしたいという想い

⇒　“わくチャレ”の募集内容を見て、自分の希望に合致する学校にエントリー！

※“わくチャレ”による人事異動が成立した場合、その学校がへき地・東西交流の対象校か否かに関わらず、異動ルール東西1カウント付与（へき地・東西交流校の場合、プラス1カウント付与）

※現任校の直前に勤務していた学校へのエントリー制限を撤廃　⇒　前任校へのエントリーも可能

ステップ３　**【校長・教員】公募する学校の校長と応募した教員との面接**

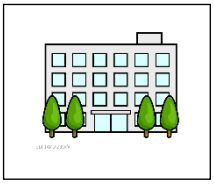


校長の想い「学校が求める教員像に合致しているかどうか。」

両者の想いが一致するかどうか、面接によって確認

教員の想い「この学校で自分が本当にやりたかった仕事ができるかどうか。」

ステップ４　**【教育委員会】校長の意見具申を参考に人事異動を実施**



・面接を経て提出された校長の意見具申を最大限尊重

・当該校の教科の出入り等（応募した教員の教科で転出者がいなければ異動は成立しない、など）も勘案しながら、人事異動内示を通知